



SHUNRŌ

FROM ABOUT 19-34 YEARS OLD

〔複製図〕(部分)【通期展示】



COMPREHENSIVE EXHIBITION OF THE NAGATA SEIJI HOKUSAI COLLECTION SHUNRŌ & SŌRI PERIODS

2017年度、鳥根県津和野町出身の北斎研究者・永田生慈氏(1951-2018)より、北斎とその門人の作品・資料2,398件が鳥根県へ寄贈されました。この「永田コレクション」は、北斎に関する個人コレクションとしては世界屈指の規模を誇ると共に、北斎研究上、極めて貴重な作品や資料の宝庫であり、当館では、複数回の展覧会を通じて、その全貌を公開する予定です。本展はその〈一章〉として、北斎が浮世絵界にデビューした20歳から45歳頃(※)まで、主に用いていた画号から「春朗期」・「宗理期」とよばれる、若き日の北斎に焦点を当てます。(※年齢は全て数え年)

北斎の生涯の中でもこの両期は、現存数や資料が少なく、謎多き時期とされていますが、永田氏は当該期の作品博搜に努め、春朗期では約90点、宗理期では約340点もの作品を蒐集。それらの研究を通して、北斎の知られざる様々な側面を明らかにされました。

本展では、そんな蒐集と研究が一体化した「永田コレクション」より、春朗期と宗理期の作品約350点を公開します。特に、極めて稀少な春朗期の肉筆画、宗理期における第一級の摺物群「津和野藩伝来摺物」(初の全144点公開)は必見です。北斎の春朗期・宗理期だけに焦点を当てる初の大規模展となる本展は、永田コレクションが県外不出のコレクションのため、鳥根県でしか見ることができません。

世界に轟く画号「葛飾北斎」を名のことも、代表作「北斎漫画」・《富嶽三十六景》を描くこともまだ先のこと—そんな北斎の知られざる若き日の研鑽と挑戦の軌跡をぜひご覧ください。

《富嶽三十六景》・『北斎漫画』を同時期展示

2階「北斎展示室」にて《富嶽三十六景》、「北斎漫画」全15編、肉筆画の優品を展示中!企画展と併せてぜひご覧ください。

1/2~2/6展示	2/8~3/6展示
《富嶽三十六景 颯風快晴》(新庄コレクション)	『肉筆画帖(巻)』(部分)(永田コレクション)
2/8~3/6展示	3/8~4/3展示
《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》(永田コレクション)	《富嶽三十六景 山下白雨》(永田コレクション)

部分図(左上から時計回りに):《大濤》、《浮絵忠臣蔵夜討之図》、《金太郎と熊》、《大仏詣図》、「化物和本草」,《三圓田圖》

関連イベント

- 記念講演会「春朗期の北斎」** 聴講無料
〔講師〕根岸美佳氏(浮世絵研究家)
〔日時〕2月23日(木・祝)14:00~(13:30開場/約90分)
〔場所〕美術館ホール(190席)、当日先着順
- 「永田生慈 北斎コレクション」一寄贈の経緯と全貌公開に向けて** 聴講無料
〔日時〕①2月18日(土) ②3月18日(土)
各回14:00~(13:30開場/約90分)
〔場所〕美術館ホール(190席)、当日先着順
受贈報告2
永田コレクションの「宗理期」作品 聴講無料
〔日時〕3月25日(土)14:00~(13:30開場/約90分)
〔場所〕美術館ホール(190席)、当日先着順
※各回とも報告者:大森拓土(当館専門学芸員)
- 浮世絵の摺り実演** 見学無料
アマチ伝統木版画技術保存財団の摺師の方による「神奈川沖浪裏」複製版の摺りの実演です。
〔日時〕2月11日(土)①10:30~②14:00~
2月12日(日)③10:30~④14:00~(各回約60分)
〔場所〕美術館1Fロビー
- 益田糸操り人形公演**
「加賀見山旧錦絵(長島の段・奥庭の段)」鑑賞無料
県指定無形民俗文化財「益田糸操り人形」を継承する団体による人形浄瑠璃の公演です。演目は、北斎の春朗期と同時期(天明2年)の初演で、「女忠臣蔵」とよばれる仇討ちもの「加賀見山旧錦絵」です。
〔日時〕2月5日(日)①10:30~②14:30~(各回30分前開場/約90分)
〔場所〕美術館ホール(190席)、当日先着順
※他の関連イベントはホームページ、「News」をご覧ください。

主催:鳥根県立美術館、TSKさんいん中央テレビ、NHK松江放送局
山陰中央新報社、SPSしまねグループ
後援:朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、産経新聞社、中国新聞社
新日本海新聞社、鳥根日日新聞社、BSS山陰放送、日本海テレビ、エフエム山陰
山陰ケーブルビジョン

観覧料	当日券		オンラインチケット・前売券
	北斎展のみ	北斎展+コレクション展 セット券	北斎展+コレクション展 セット券
一般	1,000(800)円	1,150(920)円	900円
大学生	600(450)円	700(530)円	600円
小中高生	無料		—

●オンラインチケット・前売券は2023年1月6日から販売 ●オンラインチケットはホームページより、前売券はローソン各店にてお求めいただけます(ローソンチケット/コード:63613) ●(※)内は20名以上の団体料金 ●身体障害者手帳(障害者手帳アプリ:マイコード)、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被験者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は無料

こどもといっしょの鑑賞優先時間 **かぞくの時間** 次回企画展予告
森山大道 光の記憶(仮称) 4/12(水)~6/26(月)

作品についてお子様とおはなししながら鑑賞いただけます。
〔日時〕毎日10:00~12:00 ※休館日を除く
〔対象〕0歳児からのお子様とその家族
〔会場〕コレクション展示室・企画展示室 ※閉室期間を除く

交通案内
JR松江駅から徒歩約15分
JR松江駅から松江市営バス(南循環線内回り)6分
→「県立美術館前」下車
→観光ループバス(レイクライン)
→「県立美術館前」下車
山陰道→松江西ランプから車で約5分
国道9号袖師交差点南進(駐車場より地下道をご利用ください)
※3時間まで無料

〒690-0049 鳥根県松江市袖師町1-5
TEL.0852-55-4700 FAX.0852-55-4714
https://www.shimane-art-museum.jp

鳥根北斎(婦女風俗図)(部分)鳥根県立美術館蔵(永田コレクション)

2023
2/3(金)→3/26(日)
前期 2/3(金)→27(日)
後期 3/1(水)→26(日)

※前・後期で錦絵と摺物は全点展示替え、版本は展示箇所を変更し、肉筆画は通期展示
〔開館時間〕
2月|10:00~18:30
(展示室への入場は18:00まで)
3月|10:00~日没後30分
(展示室への入場は日没時刻まで)
〔休館日〕火曜日(ただし3/21は開館)

鳥根県立美術館

永田コレクションの全貌公開〈一章〉

北斎 HOKUSAI

春朗期 宗理期 編

COMPREHENSIVE EXHIBITION OF THE NAGATA SEIJI HOKUSAI COLLECTION SHUNRŌ & SŌRI PERIODS



葛飾北斎(婦女風俗図)(部分)鳥根県立美術館蔵(永田コレクション)

これが北斎?
これも北斎!
—知られざる若き日の軌跡



SŌRI

FROM ABOUT 34-44 YEARS OLD

〔複製新造図〕(部分)【通期展示】

数え20～35歳頃

春朗期 - 多彩な習作期 -

北齋は安永7年(1778)、19歳で役者似顔絵の第一人者・勝川春章に入門したとされ、その翌年には「勝川春朗」の名で作品を発表し始めます。この「春朗」を名のった20歳から35歳までの約15年間は、北齋の70年に及ぶ全画業の中で習作期と位置づけられ、勝川派以外の様々な画派の表現も貪欲に吸収し、画技の研鑽に努めた時期です。

錦絵^{(*)1}では勝川派らしい役者絵を中心に、美人画、武者絵、浮絵、名所絵、おもちゃ絵など様々な画題を手がけ、版本^{(*)2}では黄表紙(大人向けの絵入り小説)を中心に芝居絵本、洒落本などの挿絵を精力的に描くなど、多彩な作画活動を展開しました。

一方、摺物^{(*)3}については、春朗期の後半からわずかに作例が知られ、それらの中に、次期「宗理期」に通じる叙情的要素が見出せるようになります。また肉筆画^{(*)4}の現存遺品は極めて少なく、完成品である本画としては、「永田コレクション」の《婦女風俗図》と《鍾馗図》の2点が知られる程度です。

師春章没後の寛政6年(1794)頃、春朗は勝川派を離れたと思われます。



【宗理期】《阿闍陀河鏡 江戸八景 駿河野》【後期展示】



【宗理期】《玉虫と子女具【津和野藩伝来摺物】》【展示3/1～3/13】



【宗理期】《絵本岡田川 兩岸一覽》【通期展示(展示箇所変更)】



【宗理期】《みやことり》【通期展示(展示箇所変更)】



これぞ一世を風靡した「宗理美人」の逸品
【宗理期】《人を持つ美人図》【通期展示】

西洋の絵画技法を吸収し、洋風風景画の代表作

見る角度により光沢ある模様が浮かびあがる



美しく繊細な色彩を今に伝える摺物の逸品
【宗理期】《巳待の御礼【津和野藩伝来摺物】》【展示2/15～2/27】



男女の相愛を描いた芸術性高いシリーズ
【宗理期】《あづま与五郎の残雪 伊達与作せきの小方夕照》【前期展示】



【宗理期】《亀》【前期展示】



世界に轟く「北齋」改名を宣言した記念碑的摺物

北齋狂歌本の傑作にして全24図が揃った希少な完本

「東遊」東都名所一覽」など北齋狂歌本の代表作を一堂に展示

数え35～45歳頃

宗理期 - 摺物・狂歌本の世界へ -

寛政4年(1792)に師の勝川春章が没すると、同6年(1794)頃、春朗は勝川派を離れ、琳派の流れを汲む「猿蓑宗理」の名を継ぎます。北齋はこの襲名を機に、富裕な趣味人からの私的注文による摺物や狂歌本の挿絵、さらに肉筆画など、春朗期ではほとんど手がけなかった新たな分野に挑戦するようになります。画風も一変し、「宗理風」とよばれる楚々とした優美な女性像に象徴される、温雅で叙情性漂う表現で世評を得て、数多くの優れた狂歌摺物、狂歌本の挿絵、肉筆美人画を描きました。

寛政10年(1798)、北齋「宗理」号を門人の宗二に譲って「北齋辰政」と改号し、さらに「画狂人北齋」と号すようになります。これ以降、どの浮世絵画派にも属さない独立した絵師となります。ただ宗理襲名後に確立した叙情的な画風は、この独立以降も文化2年(1805)頃まで一貫することから、この約10年間は「宗理期」・「宗理様式の時代」と呼ばれています。

なお一般向けに販売される錦絵の制作は、宗理派在籍時に一時途絶えますが、享和期(1801～04)から再び手がけるようになります。中でも西洋の透視遠近法や銅版画の影響を受けた洋風風景画を多く描いており、後年の《富嶽三十六景》に繋がる素地が見受けられます。

文化2年から「葛飾北齋」の画号で、迫力ある豪快な画風の読本挿絵を盛んに描くようになると、宗理様式は徐々に薄れていきます。

用語説明:(*)1「錦絵」…複数の版本を摺り重ねる高度な多色摺木版技法で、江戸時代後期には一般向けに販売される浮世絵版画の代名詞となる。(*)2「版本」…版画で作られた本のこと。多種多様な版本があり、北齋が手がけた版本挿絵も、黄表紙、狂歌本、読本、絵手本など多岐にわたる。(*)3「摺物」…主に裕福な趣味人らが私的目的で作った非売品の浮世絵版画。多くは高級な材料を用い、彫りや摺りにもこだわって制作された。(*)4「肉筆画」…絵師が絵筆で紙や絹などに描いた絵のこと。版画が複数摺刷されるのに対して一点物で、個々の浮世絵師の造形力をストレートに鑑賞できる。



これぞ一世を風靡した「宗理美人」の逸品
【宗理期】《人を持つ美人図》【通期展示】



永田コレクションの津和野藩伝来摺物・全144点を初公開
【宗理期】《曙艸(吉野山花見)【津和野藩伝来摺物】(部分)》【展示3/15～3/26】

全てが「県外不出」の「宝」!



【春朗期】《新版浮絵金龍山二王門之図》【前期展示】



【春朗期】《浮絵忠臣蔵夜討之図》【後期展示】



【春朗期】《花くらへ 弥生の雛形》【前期展示】



【春朗期】《市川殿藏 かげきよ》【前期展示】



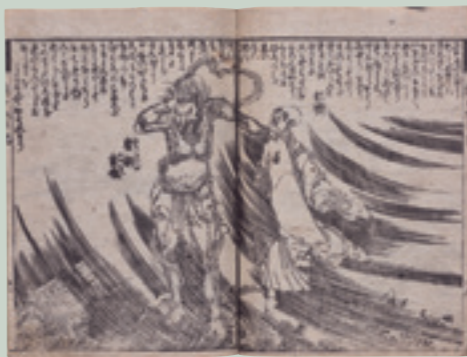
【春朗期】《冷水売り》(部分)【後期展示】



極めて希少な春朗期の肉筆美人画



【春朗期】《婦女風俗図》【通期展示】



【春朗期】《前々太平記》【通期展示(展示箇所変更)】



【春朗期】《真柴久吉 武地光秀 御伽山崎合戦》【通期展示(展示箇所変更)】



【春朗期】《朝日奈三郎平ノ義秀》【後期展示】



【春朗期】《新版おどり蚤づくし》【後期展示】

絶版処分に遭ったとされる希少作を含む黄表紙・9点展示

珍品の中の珍品、子供のためのおもちゃ絵



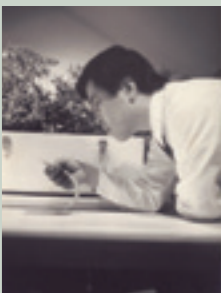
「永田コレクション」を象徴する作品

【春朗期】《鍾馗図》【通期展示】

鍾馗は古来魔除けの神として信仰されました。江戸時代には男児の無病息災を願い、端午の節句で掛軸や幟が飾られ、特に朱描の図には疱瘡(天然痘)除けの効験があると考えられました。北齋が「叢春朗」を号した34、35歳頃の作で、「春朗」の落款をもつ本画(完成作品)としては世界で唯一現存が確認されています。永田生慈氏はこの作品を、北齋研究のために集めた自身のコレクションを象徴する作品と考えておられました。

永田生慈(1951-2018)

島根県津和野町出身の北齋研究者。元・太田記念美術館副館長兼学芸部長。1990年、津和野町に葛飾北齋美術館を開館(2015年閉館)。北齋に関する数多くの論文・著書を執筆し、国内外で多くの北齋展の監修を務めた。2016年、フランスの芸術文化勲章オフィシエ受章。2017年、所蔵するコレクション2,398件を島根県へ寄贈。翌2018年2月6日逝去(享年66歳)。



「永田コレクションの全貌公開」展示予定

北齋は浮世絵師として活動した20歳から90歳までの70年の間で、傾注した分野や画題、画風が目まぐるしく変化しました。そのため北齋の画家としての人生は、その時期に名のった主な画号から6つの時期に大別されています。永田コレクションはこの各期の作品を網羅しており、今後、次のように2期ずつを展覧会で公開予定です。(※年齢は全て数え年)

20 35 歳頃	しゅんろう 春朗期	様々な画派を学び、多種多様な画題に取り組んだ習作期	永田コレクションの全貌公開(一章) 2023年 2/3～3/26
35 45 歳頃	そうり 宗理期	叙情的な表現で豪華な狂歌摺物や狂歌本の世界で活躍	
46 51 歳頃	かつしほ 葛飾北齋期	「葛飾北齋」の画名で読本挿絵の第一人者へ	永田コレクションの全貌公開(二章) 2024年度 (予定)
51 60 歳頃	かいた 戴斗期	「北齋漫画」など多種多様な絵手本への傾注	
61 74 歳頃	いっ 為一期	豪華摺物と《富嶽三十六景》など錦絵の時代	永田コレクションの全貌公開(三章) 2026年度 (予定)
75 90 歳頃	がきやう 画狂老人 正期	動植物や和漢の故事などを題材とした肉筆画の時代	

※作品は全て葛飾北齋筆、島根県立美術館蔵(永田コレクション)
※【前期展示】2/3～2/27 【後期展示】3/1～3/26 【通期展示】全会期展示
※「津和野藩伝来摺物」は2週間展示替えします。